

## アラセプリル Alacepril

アラセプリルは、第十五改正日本薬局方では純度試験の(4)類縁物質に示された液体クロマトグラフィーにより試験を行うこととされています。システムの性能では、アラセプリル、パラオキシ安息香酸プロピルの順に溶出するODSカラムの使用が指定されています。ここでは、類縁物質のシステム適合性におけるシステムの性能について、L-column2 ODS を用いた試験の結果、適合可能なカラムでした。また、L-column ODS でも同様の分離度が得られています。

Key words : アラセプリル 第十五改正日本薬局方  
Column : USP category: L1

[ Analytical conditions ]

Column : L-column2 ODS (C18, 5  $\mu$ m, 12 nm), 4.6 mm I.D.  $\times$  150 mm L.; Cat. No. 722070  
Eluent : CH<sub>3</sub>COOH in H<sub>2</sub>O (1 in 100) /CH<sub>3</sub>CN/CH<sub>3</sub>OH/THF (6/2/1/1)  
Flow rate : 1 mL/min  
Temperature : 40°C  
Detection : UV 254 nm  
Injection volume : 10  $\mu$ L  
System : -

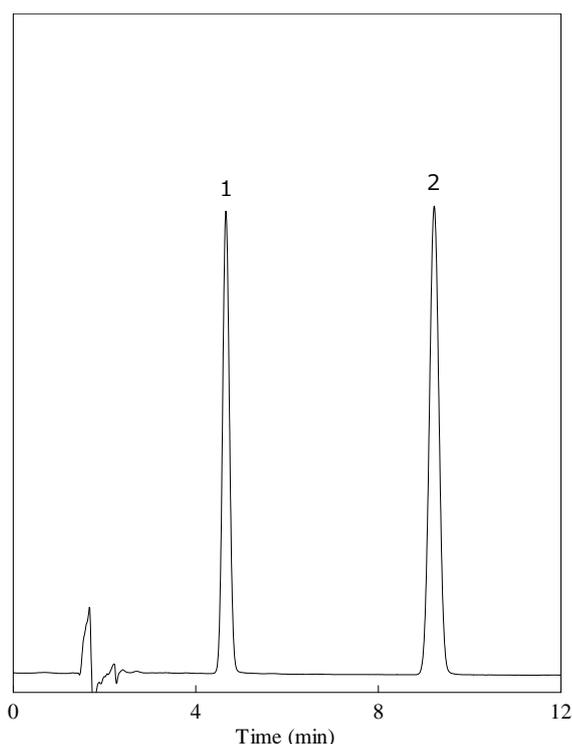
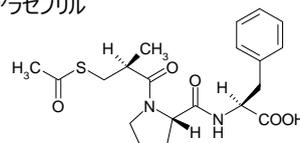


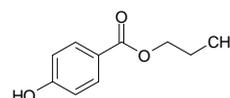
Fig. 純度試験 (4)類縁物質 システム適合性(システムの性能)

Sample:

1. Alacepril (400 mg/L)  
アラセプリル



2. Propyl *p*-Hydroxybenzoate (125 mg/L)  
パラオキシ安息香酸プロピル



Sample solvent: C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>OH

	結果	規格値
分離度(1,2)	13	( $\geq$ 7)